なんぶ 議会だより

第89号

令和８年９月議会
発行/令和８年11月

ワインづくり おじいちゃんと僕の夢



関連記事を裏表紙に記載しています。

●９月議会審議結果……2〜6
●一般質問ダイジェスト……8
●一般質問……9〜12
●住民の声をきく会……13〜15
●挑戦者たち……16

「議会だより」が見られます。

発行／南部町議会　〒683-0351　鳥取県西伯郡南部町法勝寺377-1　TEL0859-66-4804　FAX0859-66-4806
https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/gikai/　　編集／広報常任委員会　　印刷／富士印刷有限会社

令和8年9月議会を終えて

南部町議会議長　景山　浩

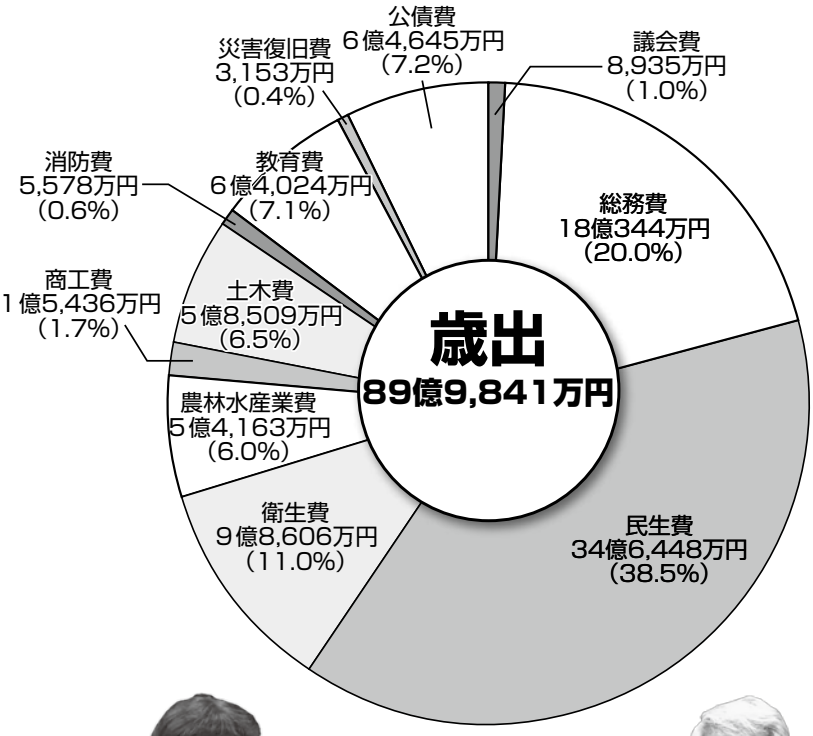


9月1日から17日間にわたり9月定例会が開催され、令和7年度一般会計、特別会計、事業会計の決算、補正予算及び条例を審査しました。町の財政運営や各種施策の成果、今後の課題についての議論や意見が今後の町政運営に十分生かされ、町民の皆様にとってより良い行政サービスの提供や持続可能な町づくりにつながることを期待しております。

生活環境維持や地域運営等私たちの生活のあらゆる場面で少子高齢化・人口減少の影響が色濃く出始めています。先日発表された18歳意識調査では鳥取県の若者が地元に住み続けたいと考える割合は全国で2番目に低く5割しか無いという結果が発表されました。若者に魅力を感じてもらえる町とは、そしてその実現のためには何をすべきかを議会としても今まで以上に真剣に考えていかなければならないと考えています。

令和7年度 決算 一般会計決算審査

結果 賛成9 反対2 認定される



決算の要点

・既存施設の老朽化対策や保育環境の改善が目的。
・子どもの安全確保や保育サービスの充実に関する投資的経費の性格が強い。

決算審査とは

令和７年度予算がいかに使われたのか、事業は的確に行われたのかという視点から、歳入歳出ができた半年後の９月定例議会で決算の審査を行うものです。





令和7年度の町づくりを振り返る　統合保育所整備

討論

反対（真壁議員）

●整備費の妥当性..
●保育所の統合に向けた施設整備費が大きな支出となる。
●公私連携の保育運営への懸念。

賛成（長束議員）

●懸案であった統合保育所の園舎建設が着工できたこと。
●地震発生による災害復旧が町民への迅速な対応がなされた。
●水道管敷設事業、排水路改修事業等、計画的に遂行している。

令和８年度9月定例議会

9月議会では令和7年度決算に基づく健全化判断比率、資金不足比率や法人の経営状況についての報告と令和7年度の一般会計、特別会計の決算と監査報告があった。令和８年度一般会計、水道、下水道、西伯病院の補正予算、条例の一部改正等、合計18議案のすべてを認定・可決した。また、陳情2件のうち１件を採択、１件を継続審査とした。最終日に令和８年度一般会計補正予算と4件の発議案の追加議案があり、１件は不採択、3件が採択された。



かきっこ保育園外観



地域活性化ポイント

主な事業

〇統合保育所整備事業・・・・・・・・・7億8,283万円

〇地域活性化ポイント・・・・・・・・・1億2,228万円

〇公共交通対策事業　・・・・・・・・・1億1,901万円

（路線バス補助、町営ふれあいバス）

〇移住・定住促進対策　・・・・・・・・・・・763万円

（新婚子育て世代賃貸住宅家賃助成事業他）

〇地域振興交付金事業・・・・・・・・・・・8,923万円

〇令和の米増産緊急支援事業　・・・・・・・497万円

〇部活動指導支援事業・・・・・・・・・・・1,281万円

〇がんばる農家支援事業・・・・・・・・・・5,894万円

〇物価高対応子育て支援応援手当支給事業・2,801万円



公共交通対策事業



がんばる農家プラン支援事業

令和7年度特別会計決算の認定結果 全会一致で可決

会計名(決算)	歳入(万円)	歳出(万円)	差引額(万円)
墓苑事業特別会計	195	195	0
太陽光発電事業特別会計	8,301	6,541	1,760
病院事業会計	23億9,348	25億54	▲1億984
在宅生活支援事業	4,347	4,283	64

＜西伯病院の現状＞
・常勤医師の減少と患者減少で減収となった。
・給与費の改定など、医療経費が増加した。

令和7年度 特別事業会計決算の認定採決結果（次ページ掲載）

会計名(決算)	歳入(万円)	歳出(万円)	差引額(万円)
国民健康保険事業特別会計	12億3,519	12億1,755	1,764
後期高齢者医療特別会計	2億3,251	2億3,140	111
水道事業会計	1億9,512	1億7,685	1,827
下水道事業会計	3億7,604	3億7,297	307



一般会計決算認定の討論

討論

反対（加藤議員）

●水道使用料金や下水道料金等、公共料金を引下げることを求め反対する。

賛成（垰田議員）

●宅配ボックスや乳児紙おむつ支援事業など町民に身近な事業が増えていた決算だった。

特別会計決算認定の討論

国民健康保険事業会計

討論

反対（真壁議員）

・保険者の多くは生活に困窮する町民が多い。
・保険料の未納、滞納が多くなっている。
・税の引き下げ、減免制度を充実し、負担の軽減を図るべきである。

賛成（仲田議員）

・減免制度は7,5,2割の軽減措置が設けてある。
・高額医療となっても、一定額以上免除となる制度もあり、医療制度は守るべきである。

水道事業特別会計

討論

反対（加藤議員）

・物価高騰で町民の生活は大変である。
・町民の生活を守る観点から、水道料金を含めた公共料金を下げることを求める。

賛成（三鴨議員）

・7年度は減免もなく通常の使用料があり、収支バランスの取れた決算であった。
・物価高騰で厳しい決算であったが、老朽管更新事業も進める必要がある。

一目でわかる審議結果

■賛否の分かれた議案など　　**9月定例会** ○は賛成　×は反対あるいは保留

議員名（議席順）/議案	秋田	井原	垰田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	真壁	結果
議　案														
令和7年度一般会計歳入歳出決算の認定	○	欠	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	認定
令和7年度国民健康保険事業特別会計の認定	○	欠	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	認定
令和7年度後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	欠	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	認定
令和7年度水道事業会計決算の認定	○	欠	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	認定
令和7年度下水道事業会計決算の認定	○	欠	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	認定
保育所条例の一部改正について	○	欠	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	可決
財産の無償貸付及び譲与について	○	欠	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	可決
陳　情														
南部町地域振興協議会に関するまちづくり基本条例（仮称）の制定を求める陳情	**全会一致で継続審査**													継続
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	採択
発議案														
少人数学級・教職員定数の改善を求める意見書	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	可決
副首都法の廃止と地方財政の充実を求める意見書	×	欠	×	○	×	×	欠	×	×	○	×	×	○	否決
ICC所長への制裁撤回を米政府に求める意見書	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	可決
緊急の米価下落対策を求める意見書	**全会一致で可決**													可決

保育所条例の一部改正

保育所を取り巻く制度や運営の実態に合わせて、条例の内容を見直す。

討論

反対（真壁議員）

- 保育所を2園廃止するが、今後の利用について説明もなく条例の改正となっている。
- 建設費や運営費が地方交付税のあいまいなままの説明で現在に至った。

賛成（三鴨議員）

- 長年の懸案であったかきっこ保育園がいよいよ開園する。町の保育行政が安定的かつ持続可能な運営が始まる
- 運営が終了する、さくら・つくし保育園の閉園に伴う条例の改正であり賛成する。

財産の無償貸与及び譲渡について

町の財産である、かきっこ保育園の運営を担う、伯耆の国へ公私連携協定に基づき、施設、備品の利用を貸与、譲渡する。

討論

反対（真壁議員）

- 公私連携協定の中では、私運営の特徴が発揮できるのか疑問である。
- 町の財産を一法人への移管は不適切である。

賛成（秋田議員）

- 町有地・建物の無償貸付と遊具の譲与に賛成します。
- 町と運営法人伯耆の国の連携による、安心できる保育園運営に期待します。

令和8年度 一般会計、特別会計補正予算

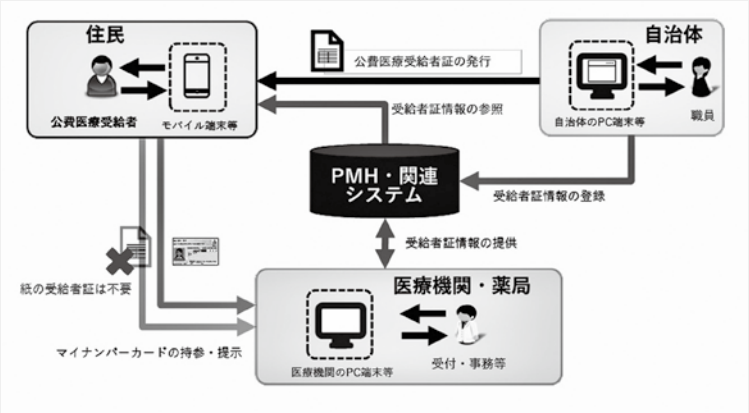
一般会計予算に歳入歳出それぞれ、1億9,476万円を追加し歳入歳出82億5,521万円とする。

全会一致で可決

特別医療費助成事業

医療機関や薬局の窓口でマイナンバーカードを読み取るだけで、特別医療費の受給資格が確認できるようシステムを改修する。

補正予算額
618万円



西伯病院運営補助金 1億6,968万円

地方公営企業操出金の基準に準じた補助金

議員発議

発議とは議会において、議員が「議案」を議長に提出することを言います。
原則、3人以上の賛同が必要で、発議案として、「条例」「意見書」などがあります。

緊急の米価下落対策を求める意見書

稲の収穫の時期が来ているが、全国的な米価の下落で、令和８年度の鳥取県における米価の概算金は、前年比２～４割下回る水準で、16,000円（60kg）、前年に比べ6,000円も下がり、農家からは対策を求める声が上がっている。

米価の下落は、市場で25年産米の在庫が積み重なり取引が動かない状況下で起こってきている。在庫が大幅に拡大している原因は、政府が放出した備蓄米の59万トンに加え、25年産米の備蓄米買い入れを中止した数量の21万トン、飼料用米から主食への転換33万トン、ミニマムアクセス米と関税輸入米20万トンが流通し、市場で米があふれる状態になっていることだ。政府は備蓄米21万トンを買い戻し米価の下支えをするといっているが、これでは今回大幅な下落に対応できていない。米価の暴落は、生産コストの上昇に苦しむ農家を追い詰めている。これらは政府の政策の結果であり政府の責任だ。事業者や農家の自己責任ではない。このままでは、全国で離農が一層加速し、再び米不足を招くことになりかねない。

一刻も早く、現状に合った緊急対策を行い、需給の引き締めを行うべきだ。

ついては以下の点について取り組むことを求める。

記

１．すでに決定している26年度産米の政府備蓄米の買い上げに加えて、放出した政府備蓄米59万トンの買い戻し・買い上げを行うこと。さらに中止した25年産米の備蓄米の買い上げもおこなうこと。

２．今年４月に公表されたコスト指標（20,535円/玄米60kg）を最低保証するため、不足分を生産者に対し緊急に補填すること。

３．今後の対策として、いつでも農家が再生産できる価格と消費者が買える価格とのギャップを政策的に補填するため、農家への「所得補償制度」を早期に検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和８年９月17日

鳥取県西伯郡南部町議会

【提出先】内閣総理大臣、農林水産大臣、財務大臣
衆議院議長、参議院議長

委員会だより

令和９年度の行政に対する議会からの要望事項を検討中

総務経済常任委員会



民生教育常任委員会



議会活動日誌

6月

日	曜日	会議・行事
29	月	鳥取県町村議会議長会　定期総会 西部町村議会議長会　連絡会 住民の声をきく会　下阿賀集落

7月

日	曜日	会議・行事
2	木	広報常任委員会②
6	月	鳥取県町村議会　広報研修会
8	水	行政調査受入れ　邑南町議会総務教民常任委員会 広報常任委員会③
9	木	行政調査受入れ　京都府亀岡市議会
10	金	献血運動推進全国大会
13	月	ハンリム大学生　対面式・歓迎会
15～16	水～木	議会改革調査特別委員会 正副委員長先進議会視察 浜田市議会
17	金	広報常任委員会④ 西部町村議会議長会 正副議長局長合同研修会
20	月	原水爆禁止国民平和大行進　南部町通過式 ハンリム大学生　お別れ式
22	水	広報常任委員会⑤
27	月	反核平和の火リレー　南部町到着式
29	水	鳥取県町村議会　女性議員研修会

8月

日	曜日	会議・行事
3～5	月～水	鳥取県町村議会議長会 役員行政調査
6	木	南部箕蚊屋広域連合議会 議会運営委員会
7	金	議会改革調査特別委員会 正副委員長先進議会視察 三朝町議会
12	水	議会運営委員会 南部箕蚊屋広域連合議会 全員協議会
17	月	日吉津村ほか２か町下水道協議会 総会 西部広域行政管理組合議会 臨時会 西部広域行政管理組合議会 全員協議会 西部広域行政管理組合議会 ごみ特別委員会
18	火	自治功労者表彰式並びに西部町村議会議員研修会
24	月	南部町伯耆町清掃施設管理組合議会 定例会
25	火	南部箕蚊屋広域連合議会 定例会 議会改革調査特別委員会 正副委員長先進議会視察 北栄町議会
28	金	全国町村議会 議会広報研修会
31	月	議会運営委員会 全員協議会

9月

日	曜日	会議・行事
1	火	定例議会　本会議
2	水	定例議会　一般質問 議会運営委員会 全員協議会
3	木	定例議会　一般質問
4	金	統合保育所建設調査特別委員会⑬ 全員協議会 議会改革調査特別委員会⑫ 総務経済常任委員会 民生教育常任委員会
7	月	予算決算常任委員会
8	火	予算決算常任委員会 総務経済常任委員会
9	水	予算決算常任委員会
10	木	予算決算常任委員会 総務経済常任委員会
11	金	予算決算常任委員会
14	月	予算決算常任委員会 広報常任委員会①
15	火	予算決算常任委員会 全員協議会
16	水	議会運営委員会 全員協議会
17	木	定例議会　本会議 臨時議会
30	水	地域振興協議会　会長副会長会

令和８年９月定例議会一般質問ダイジェスト

	議員名	発言時間(分)		質問事項
1	長束　博信	30	1	近年の災害状況から何が一番必要か
2	三鴨　義文	30	1	水道施設改善計画
			2	空家等流動化促進を
3	板井　　隆	30	1	まちづくりの方向性は
4	秋田左紀子	30	1	誰も一人にしない支え合い体制づくり
5	真壁　容子	30	1	中学校給食無償化を
			2	西部広域一般廃棄物処理施設建設計画の見直しを
			3	「地域振興区の設置等に関する条例」
6	荊尾　芳之	30	1	空き家対策
			2	町道沿線における危険樹木の管理状況と対応方針
7	仲田　司朗	30	1	子どもの学びを守るデジタル活用のあり方
			2	町道の除草剤散布をどう考えるのか
8	加藤　　学	30	1	子どもの居場所
			2	買い物支援
			3	町道の維持管理は

南部町のホームページからも一般質問等の動画が見れます。

あなたの声を町政に問う！



【質問の通告】
一般質問は、議案と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。
町民皆様の声を町政に問います。



Q 近年の災害状況から何が一番必要か
A ご近所のつながりをもう一度



動画が見られます

長束 防災事業は短期的、長期的に見てどのようなものがあるのか。

町長 短期的に防災訓練、備蓄、情報伝達体制の整備など現在の災害リスクに対する即応力を高めていく。長期的には、施設の耐震化、支え合いマップ等を活用した地域防災力の向上や判明した課題を反映、実践検証、改善を進める。

長束 近年の災害状況から何が一番必要と考えるか。

町長 災害時の一人ひとりの避難計画を作る。この話し合いでご近所のつながりをもう一度作って頂きたい。

長束 町が保有する避難行動要支援者の情報と社会福祉協議会、民生委員、地域が持っている情報がバラバラだが命を守る行動の為の情報共有は必要ではないか。

町長 共有するべきだと思う。相対的にこれは厳しいという方を警戒レベル３（高齢者等避難）の放送がでた時にどう支援していくのか大きな課題だと認識している。



防災グッズ

Q 空家等流動化促進を
A 相談窓口で相談してほしい



動画が見られます

三鴨 令和８年度から始まった空家等流動化促進事業は、従来にない手厚い支援策であり、除却を考えている所有者の方には大きな後押しになる新規事業と考える。

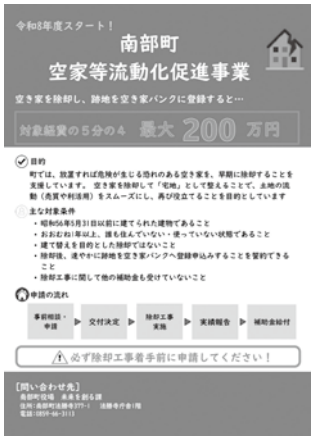
この制度の内容を伺いたい。

町長 町では、放置すれば危険が生じる空き家を荒廃するまでに除却して、宅地として再活用することを目的に、除却対象経費の４／５（上限２００万円）を補助する新制度を開始した。

除却した後は空き家バンクに登録することで、なんぶ里山デザイン機構が土地の情報提供と課題解決をして宅地の流動化を図る制度だ。

三鴨 この制度が上手く機能していけば、荒廃地が減り、若い移住者でも来ていただければ、移住定住による人口増や地域コミュニティの醸成にもつながる。積極的に取り組むべきではないか。

町長 町としても、積極的に情報提供や課題解決に努力する。まずは相談窓口に出かけて相談して欲しい。



Q まちづくりの方向性は
A 地域が主役となる町づくり

動画が見られます

板井 町の「ありかた検討会」で地域ビジョンを策定し将来にわたり自立した地域運営の方針を進めようとしている。実効性について問う。

町長 地域ビジョンは住民主体の地域づくりを進めるための重要な指針である。

板井 各地域振興協議会への自立性を高めるための財政的・人的支援の推進について問う。



町長 協議会は日ごろから、地域の問題解決と深化に尽力している。地域運営力の弱体化が進むなか、地域コミュニティーを持続的に取り組む協議会の機能強化と担い手育成に支援を行う。

来年度は策定した地域ビジョンを実践に移す段階に入る。地域が主役となる町づくりを町政の基本姿勢として、協働した地域づくりを推進する。


南さいはく地域振興協議会主催の「ふれあい運動会」の様子

Q 誰も一人にしない支え合い体制づくり
A 提案を契機に、多方面から検討していく

動画が見られます



秋田 地域福祉や高齢者福祉、介護保険、人口減少対策などの計画を共通の課題でつなぎ、今から検討する場を設けてはどうか。

町長 今回の提案を契機に、行政の役割や新たな支援体制のあり方について、多方面から検討していく。

秋田 医療同意、緊急連絡先、身元保証、金銭管理、住まい、死後の手続きなど、既存の制度では対応が難しい課題がある。それぞれが持っている力をつなぎ、町が全体を調整することが必要ではないか。

町長 将来、身寄りのない高齢者が増えることを見据え、現在の重層的支援体制整備事業を基盤として、支援調整の機能を強化していきたい。



第２期 南部町地域福祉推進計画

Q 中学校給食の無償化を
A 否定するものではない

真壁 県西部の町立中学校では南部町の2校を除くすべてで給食の無償化が実施されている。子育て支援を重要施策としている町に実施を求める。無償化にかかる経費はいくらか。

教育長 年間約1960万円と試算している。この中には就学援助分約310万円が含まれている。

真壁 年間約1600万円ということになる。中学生一人当たり年間給食料の保護者負担はいくらか。



真壁（まかべ）　容子（ようこ）議員

教育長 一食単価430円、185日で年間7万9550円になる。

真壁 年間約8万円の負担だ。無償化を検討すべきでは。

町長 無償化を否定するものではないが、国の恒久財源がない中で親御さんの負担はゼロ、全て自治体が持つという考え方がいいのかどうかで迷っている。

真壁 物価高騰で教育費が大変という気持ちをしっかり受け止めるべきではないか。

町長 教育委員会とも議論しながら進めたい。町村会で県に対して支援を求めている。



学校給食

動画が見られます

Q 空き家対策
A 適正管理で利活用へ誘導



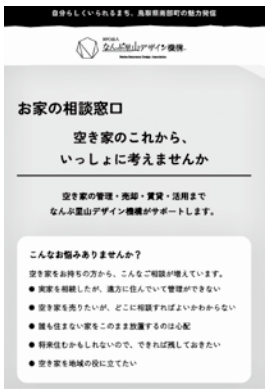
荊尾（かたらお）　芳之（よしゆき）議員

荊尾 南部町の空き家の発生状況と所有者による管理が適正に行われているかを問う。

町長 令和5年度の空き家実態調査によると、町内全域で284軒の空き家があり、状態が良好な物件は全体の67％の187軒で倒壊の危険性がある物件は3.2％の9軒だった。著しく老朽化した危険な空き家は少ない状況だ。しかし、この中間層の物件が危険な状態へと移行するのを防ぐため、早期に適正管理を働きかける。そして、利活用へ誘導することが極めて重要である。

荊尾 空き家等の流動化促進事業で土地の上物を壊すと、その土地に6分の1の税適用が6分の6になる。事業の目的から1年の減免制度が出来ないか問う。

町長 日南町が減免制度をつくって、平地になっても1年間か何年間か課税しない制度をつくっていると聞いた。この空き家等の流動化促進事業をさらに進めるために、この効果を実証し、さらに研究する。そして事例等を見ながら十分に検証する。



動画が見られます

Q 町道の除草剤散布をどう考えるのか
A 適切な使用をお願いしたい

動画が見られます

仲田 道路の路肩への除草剤散布による路盤への影響について町はどのように対応しようとしているのか。

町長 道路のり面への除草剤の使用について、現時点では除草剤散布によって町の道路管理に大きな支障が生じている具体事例はない。



仲田 路肩が崩れにくい除草剤散布に、どう考えているのか。あまり知識のない中で根まで枯らす除草剤をのり面にまけば、当然土壌が流出してしまう恐れがあるので、適切な使用をお願いしたい。

町長



AI生成したイラスト

Q 町道の維持管理は
A 危険木は県事業を積極的に活用

動画が見られます



加藤 集落から寄せられる草刈りの要望について、年間計画や優先順位はどうやって決めるのか。

町長 交通安全への影響、交通量などを考慮して、緊急性や必要性の高い箇所から対応している。

加藤 町道の維持管理の状況と、維持管理における基本的な考え方について問う。

町長 道路管理者の安全と生活道路としての機能を維持していくことを基本にして、草刈り、側溝清掃、路面補修、支障木の伐採をしている。

草刈りについては町が直接行う維持管理に加え、地域の方の協力を得て維持管理を行っている。

加藤 鳥取県危険木等事前伐採事業を活用した草刈り、道路の維持管理ができないか。

町長 県の事業は草刈りを対象にしていない。今後、危険木については本事業を積極的に活用して安全確保につなげる。



車に当たたっている枝

委員会だより

住民の声をきく会
～中間報告～

議会改革調査特別委員会　委員長　長束博信

昨年から実施してきた「住民の声をきく会」の現在までの進捗は集落全体の約1/3程度です。

これまでにお聞きしたテーマとして、①少子高齢化・人口減少　②地域の維持　③地域交通　④農業・農地・林業等　⑤子育て・教育　⑥議員のなり手不足　⑦議会・議員に対する意見・要望　⑧その他　についてお話をうかがってきました。

各集落でのご意見などは「議会だより」にて一部を都度ご報告しています。

【寄せられたご意見等】

- 議員定数と報酬については様々なご意見がある
- 農業問題はインフラ・後継者への深刻さが浮き彫りに
- 人口と公共施設の数の問題
- 携帯電話の電波の不通地区課題
- 上下水道老朽化の早期改善問題
- 冬場の公共交通の不通改善
- 集落間の危険木や除草問題
- 河川の雑木・川床（災害）
- 空き家・空き地対策（環境）
- 集落の維持問題
- 県道わきの不法投棄・町道管理

（上記以外にも様々なご意見・要望がありました）



法勝寺中学校周辺の雑木



不法投棄

【町政に力を入れてほしいアンケートの結果】

＜人口減少・高齢化＞では 112件

人口減少防止、労働力不足、若者流出、過疎対策防災、空き家、医療・介護など

＜産業・経済＞では 86件

農業、買い物、雇用、企業誘致、公共交通、観光など

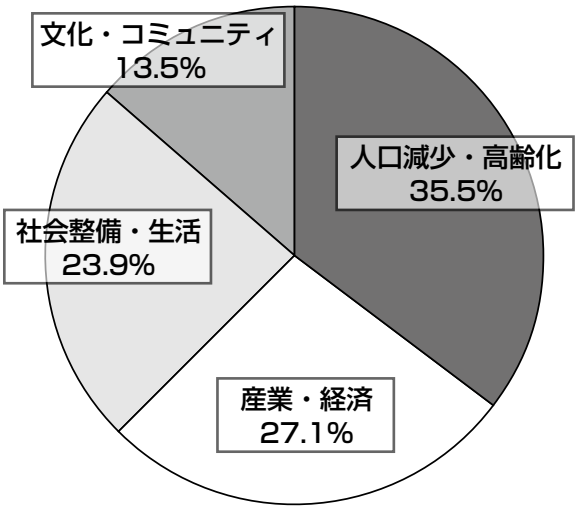
＜社会整備・生活＞では 76件

医療・福祉、教育、道路・水道、情報化、ゴミ、環境など

＜文化・コミュニテイー＞では 43件

伝統文化、防災、地域自治、外国人など

町政で力を入れてほしい項目



議員の受け止め



秋田　佐紀子 議員

日々の暮らしの中で感じられている課題やご意見を直接うかがうことができた。いただいた声を大切に受け止め、町政に届けて安心して暮らせる南部町づくりにつなげていく。ご参加いただき心より感謝致します。

井原　啓明 議員



地域・集落で課題等は異なるが、町が抱える多くの共通課題を認識出来た。議員にはもっと町民の声を役場に届けてほしいのでこの会の開催は良かったとの意見も頂いた。皆さんとのコミュニケーションの大切さを痛感した。



垥田　光雄 議員

私は2期無投票で、町民の皆さんからの声を聞く機会が少なかったので、この会はとても有意義な時間と感じている。若い世代の方々からもご意見をうかがい、南部町のこれからを共につくっていきたい。

荊尾　芳之 議員



それぞれの集落によって課題は異なるが、共通する１番の課題は、人が減り集落の人数が少なくなり、草刈り等の集落役目が難しくなったということを感じた。



長束　博信 議員

この会が決定し１年が経過した。住民の方からとても身近に迫る話が多くあり会を開催して良かった。１年に１回は開催して欲しいとの要望もあり、議会への期待と元気を頂きこれからも頑張ろうという気持ちになった。

白川　立真 議員



これまで様々な「声」をうかがい、共通課題も多く、地域での共同作業が難しくなりつつある事、雪かき、ゴミ出し、免許返納に伴う買い物など少子高齢化に起因する課題だ。今後、共助や公助のあり方を検討する必要を感じた。

委員会だより

住民の声をきく会



三鴨　義文 議員

直接地域にうかがい、皆さんの困りごとや地域の課題を知ることが出来た。特に人口減少や高齢化で集落の環境整備の維持が困難になったとの声が印象的だ。簡単な課題ではないが、今後の議会活動に生かしていきたい。

仲田　司朗 議員

議会を皆様がどう思っているのかを直接聞けて有意義な会であったが、町に対する個別要望が大半で議会から提案した「議員のなり手不足」など8項目の意見が少なかった。もっと多くの方に参加していただきたい。





板井　隆 議員

皆さんが日頃感じている課題や要望を直接うかがい、行政資料だけでは見えない地域の実情や率直な意見を聞けて有意義な機会となった。皆様の声を今後の議会活動や政策提言に生かし住民に寄り添った町づくりに努めたい。

真壁　容子 議員

なかなか緊張する時間でもある。来てくれる人がいるのだろうか、区長さんが頑張ってくれたんだろうなと思うと頭が下がる。町民の力を借りての議会改革の一歩としたい。





景山　浩 議員

住民の声を聞く会では、農林業や生活環境など様々な問題を改めてお聞かせいただいた。問題解決はもとより、多くの問題が人口減少由来であり人口維持政策が不可欠であるとの思いを強くしている。

加藤　学 議員

個人的には主に旧会見地区を中心に住民の声を聞き、町政へ届ける活動をしている。「住民の声をきく会」では旧西伯地区でも住民の声を聞くことができ、より多くの人の話を聞き大変ためになっている。





井田農園 4代目へ インタビュー
ワインづくりに挑戦

井田（いだ） 雄斗（ゆうと） さん（26歳）



▲南部町のコート・ドール
（葡萄畑の葉が黄色く染まり輝く様）

Q ワインづくりを始めようと思ったきっかけは

A 我が家は代々梨などの生産、そば作りをしている農家です。今、農家の高齢化が深刻で耕作放棄地が増えていくことを心配しています。ある時、おじいちゃんが傾斜地の耕作放棄地を活用して「ワインづくりに挑戦してみらいや」と・・・。

まず、ワインぶどうの生産からの挑戦でしたが、梨づくりのノウハウを活かしながらヤマソービニヨンという品種を植えました。ワインは時間をかけて熟成すればするほど深みが増し美味しくなります。今年から琴浦町にある「TOTTORI星乃丘ワイナリー」に醸造委託をはじめました。



▲醸造作業



▲ヤマソービニヨン

Q 将来の夢は

A 昨年、農地の土壌研究をされている方とスペインなどを回りワイン関連施設や農場を視察しました。

「ワインは自然、つくり手、時間の３つが重なり合う物語なんだ。日本の気候に合ったワインづくりをめざせ」と、ワインづくりの奥深さを教えてもらいました。おじいちゃんたち先輩がこの地で試行錯誤しながら梨・柿生産を定着したように、しっかりとしたワインぶどうを生産し、深みのあるオリジナルワインをつくりたいです。そして、ワインを通して世界中の人々とつながり交流の輪を広げていきたいです。

あとがき

朝夕の涼しさを感じる季節となりました。

そんな中、11月下旬には「かきっこ保育園」が開園します。子どもたちの笑い声でにぎやかになることが楽しみです。

今、議会は「住民の声をきく会」などで様々な地域課題を伺っています。そうした課題を議員みんなで共有し、議会で今後どのように取り扱うかを協議していきます。少子化が進むなかで「これからも住み続けたい町」をめざし取り組んでいきます。

（白川）

広報常任委員会
委員長　垰田　光雄
副委員長　加藤　学
委　員　景山　浩
板井　隆
白川　立真
長束　博信
井原　啓明
秋田佐紀子